

要 請

新聞報道によれば、石垣島への自衛隊配備計画をめぐり、防衛省沖縄防衛局の森浩久企画部長は、市民を対象にした説明会を4月22日に石垣市民会館中ホールで開催することを約束した。

これまで防衛省が市民に明らかにした情報は、昨年11月に若宮副大臣が来島し、自衛隊配備計画について石垣市に要請した際に明示した、「配備候補地は平得大俣、配備人数は警備部隊、地対艦・空誘導弾部隊500～600人、隊舎、グラウンド、火薬庫、射撃場をつくる」という程度でそれ以上は市民に何も知らされていない。

今回の配備計画説明会では、防衛省は「事前に説明を受け付け、項目ごとに分類し、できるだけすべてに回答したい。」と述べているが、事前に全ての情報の開示がないにも関わらず、市民に事前に質問を出せというのはおかしな話である。また回答するにあたり、質問項目ごとに分類することにより、市民一人ひとりの質問が大きくまとめられて、各質問者の質問権、知る権利が封殺されるおそれがある。防衛省、石垣市は寄せられた事前質問について、説明会当日に公開する（文書配布）準備と、ていねいな回答を求める。

防衛省は市民に理解と協力を求めるのなら、また石垣市長は市民の議論を見て判断するというのなら、配備計画の全容をつつみ隠さず明らかにする責務がある。なぜならば、配備計画の全容が明らかにされなければ市民や議会は議論ができないからである。防衛省と石垣市は、やむなく説明会に参加できなかった市民をふくめ、全市民に説明会の内容と寄せられたすべての質問とすべての回答を公開し、周知徹底と、引き続き市民の質問に答えていくことを求める。

以上要請する。

2016年4月18日

防衛大臣 中谷 元 様
石垣市長 中山 義隆 様

「石垣島への自衛隊配備を止める住民の会」

共同代表 上原 秀政
下野 栄信
仲座 初枝